

図面ピン打ち機能の使い方

本書では、以下の[アプリケーション・Viewer](#)で、**図面ピン打ち機能**を使う方法を説明しています。

アプリケーション・Viewer	サポートサイト
 eYACHO forBusiness 7  eYACHO Viewer 7	 サポートサイト
 GEMBA Note for Business 7  GEMBA Note Viewer 7	 サポートサイト

▶ [GEMBA Note for Business 7 をご利用の方へ \(P1\)](#)

Android 版をご利用の方へ

フォーム部品や、工事写真（eYACHO）の追加・設定は、iOS 版または Windows 版で操作します。

■ Android 版では [工事写真] [工事写真帳] [フォーム部品] を追加できません。

■ Android 版ではノート編集画面に、 や  > [フォーム部品を追加] は表示されません。

詳しい説明を見る

- 本書では、iOS 版または Windows 版の eYACHO for Business 7 を使って説明しています。画面や利用できる機能が、お使いの [アプリケーション・Viewer](#) と異なる場合があります。

[GEMBA Note for Business 7 をご利用の方へ](#)

工事写真機能は、eYACHO の機能です。GEMBA Note の画面には、**工事写真**に関する機能は表示されません。

- 本書では基本的な機能のみ紹介しています。詳しい操作説明は、[マニュアル・管理者ガイド・ガイド](#)をご覧ください。

[マニュアル](#)

eYACHO for Business の画面右上  > [マニュアル]
[サポートサイト](#)のマニュアル

[管理者ガイド](#)

Web 管理ツールのトップページ/管理者メニュー > [ダウンロード/リンク]

[ガイド](#)

[フォーム作成ガイド](#)
[工事写真管理機能利用ガイド](#)

- ノートを作成した OS 環境とは異なる OS の eYACHO for Business でノートを開くと、フォントの違いによる文字の送り・改行のズレがあることをあらかじめご了承ください。源ノ明朝、源ノ角ゴシックフォントをお使いいただくと解消されます。

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPad は、Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、本書の著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

目次

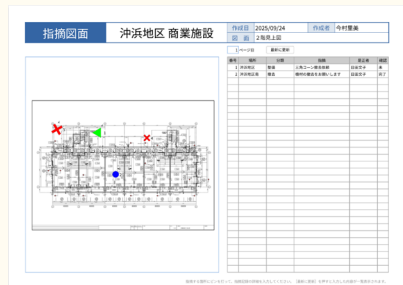
1.	図面ピン打ち機能とは	3
1-1	ピンマーク型	3
1-2	フォーム型	3
2.	指摘記録（ピンマーク型）	4
2-1	図面連携用紙を準備	4
2-2	ピンマークを追加・指摘記録と関連付け	7
2-3	是正内容を入力	7
2-4	是正内容を確認	8
2-5	指摘記録の一覧へ反映	8
2-6	指摘記録の一覧からページを追加	9
3.	指摘記録（フォーム型）	10
3-1	図面連携用紙を準備	10
3-2	ピンマークを追加・指摘記録と関連付け	11
3-3	是正内容を入力	12
3-4	是正内容を確認	12
3-5	指摘記録の一覧からページを追加	12
4.	工事写真	13
4-1	図面連携用紙を準備	13
4-2	ピンマークを追加・工事写真と関連付け	14
5.	図面ユニットの操作	15
5-1	図面ユニット	15
5-2	図面ユニットを押した画面の操作	20
5-3	ピンマーク	21
6.	タグの検索・CSV 出力	24
6-1	タグ検索	24
6-2	タグの検索条件を登録・CSV 出力	25

1. 図面ピン打ち機能とは

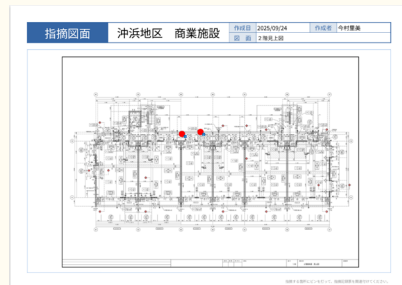
図面ファイルを読み込んだ図面連携用紙を準備し、指摘したい内容がある位置へピンを打ち、記録・確認できる機能です。

図面連携用紙

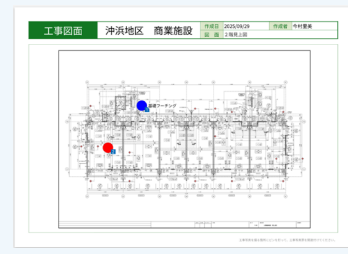
指摘記録（ピンマーク型）



指摘記録（フォーム型）



① eYACHO は、**フォーム型**の図面連携用紙のピンと**工事写真**を関連付けできます。



ピンの位置へ指摘したい内容や、是正した内容に写真を撮影したときなどに、ピンマークの色や形状が自動で変わるため、ひと目で進行状況を把握できます。図面連携用紙は、**ピンマーク型**または**フォーム型**から選びます。

1-1 ピンマーク型

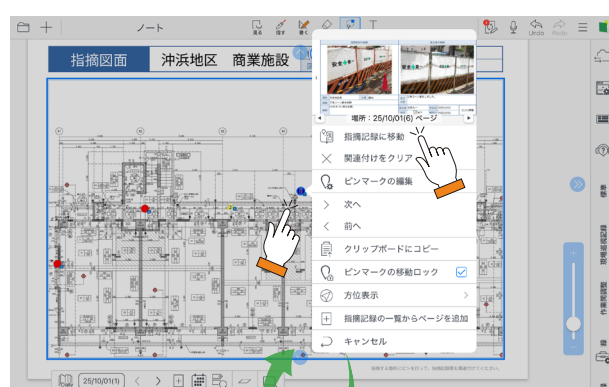
図面連携用紙のページで、ピンに関連付く指摘内容や写真を記録・確認できる**ダイアログ**が開きます。



① 指摘内容や写真について、手書きのメモや図などを加えたいときは、**フォーム型**を利用します。

1-2 フォーム型

図面連携用紙のページから、ピンに関連付く**帳票ページ**のタブに移動して、指摘内容や写真を記録・確認します。



帳票ページ



図面連携用紙ページでピンのメニューを押したり、**帳票ページ**のボタンを押したりして、簡単に移動できます。

帳票ページに用意されている**フォーム部品**を利用して入力するため、**ピンマーク型**よりも入力機能が充実しています。また、自由に手書きのメモや図を加えて追記できます。

フォーム部品

フォーム部品は、**フォーム作成ガイド**でご確認ください。

2. 指摘記録（ピンマーク型）

2-1 図面連携用紙を準備

2-1-1 図面ファイルを保存

図面ファイルを図面ファイルの保存場所に保存しておきます。

図面ファイル

PDF（*.pdf）、イメージ（*.png、*.jpg、*.jpeg、*.gif）を
図面ファイルとして読み込みます。

図面ファイルの保存場所

図面ファイルは、あらかじめ以下の場所に保存しておきます。

- iOS 版：ストレージ
- Windows 版：[エクスプローラー] から選べる場所
- Android 版：[ファイル] から選べる場所

2-1-2 図面連携用紙に図面ファイルを読み込む

図面連携用紙 [指摘記録との連携（ピンマーク型）] に、図面ファイルを読み込みます。ひとつの図面ファイルを読み込む方法（P.4）、複数の図面ファイルを読み込む方法（P.5）、ほかのアプリからインポートする方法（P.6）があります。

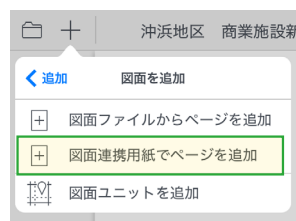
方法 1 図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む

方法 1-1 図面連携用紙でページを追加

- ① ノートを開き、**+** > **[図面を追加]** を選びます



- ② **[図面連携用紙でページを追加]** を選びます



- ③ **[図面連携用紙でページを追加]**
画面で **[指摘記録との連携（ピンマーク型）]** を押します

図面連携用紙 [指摘記録との連携（ピンマーク型）] がページとして追加されます。

[図面連携用紙でページを追加]



カスタマイズした図面連携用紙を使う

図面連携用紙をカスタマイズし、[用紙テンプレートの登録] をすると、**[図面連携用紙でページを追加]** に表示されます。カスタマイズする方法や、用紙テンプレートとして登録する方法は、**マニュアル**や、**ガイド**をご参照ください。

- **フォーム作成ガイド**
- **工事写真管理機能利用ガイド**

方法 1-2 図面連携用紙に図面ファイルを追加

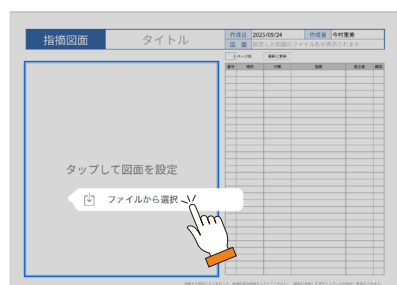
- ① [🔍 選ぶ] になっていることを確認し、**図面ユニット**を押します

図面連携用紙 [指摘記録との連携 (ピンマーク型)]



▶ 図面ユニット (P15)

- ② [ファイルから選択] を押し、**図面ファイル**を選びます



【〇〇から読み込む】

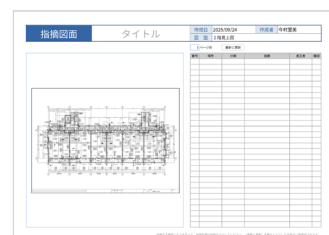
【〇〇から読み込む】が表示された場合は、**図面ファイルの保存場所**を選んでから**図面ファイル**を選びます。

- ③ [ファイルから選択] で [タイトル] [縮尺] を設定し、[完了]を押します

【ファイルから選択】



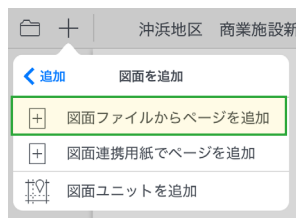
図面連携用紙の**図面ユニット**に**図面ファイル**が読み込まれたページが追加されます。



方法 2 図面連携用紙に複数の図面ファイルを読み込む

複数ページを含む図面ファイルや、複数の図面ファイルを図面連携用紙へ読み込むときに使います。

- ① + > [図面を追加] > [図面ファイルからページを追加] を押します



- ② [図面ファイル] を押し、**図面ファイルの保存場所**から**図面ファイル**を選びます



- ③ [図面連携用紙] を選びます

- ④ [縮尺] [図面ファイルの追加順] を選び、[完了]を押します

図面連携用紙の**図面ユニット**に**図面ファイル**が読み込まれたページが追加されます。

方法3 ほかのアプリからインポートして図面連携用紙に図面ファイルを読み込む

ほかのアプリ（Googleドライブなど）から図面ファイルをインポートし、図面連携用紙に読み込みます。

① 図面ファイルを追加したいノートを開いておきます

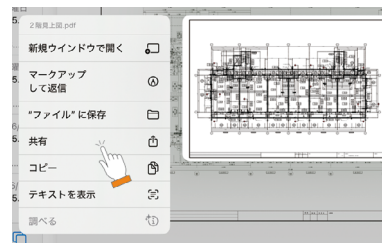
① ノート一覧画面を開いていた場合、⑤の画面に「図面連携用紙で追加する」は表示されません。

② ほかのアプリで図面ファイルを表示します

① ここではメールアプリで説明します。

① 複数ページのPDFも読み込めます。

③ PDFを長押しし、[共有]を選びます



④ [eYACHO7] を押します



① ほかのアプリをご利用の場合、PDFをeYACHOに送る操作（eYACHOで開く操作）をして⑤に進みます。

⑤ 「図面連携用紙で追加する」をオンにし[完了]を押します



インポート / ファイルから読み込む

ノート編集画面で、+ > [インポート]を選んで表示されるストレージなどから図面ファイルを読み込むと、インポートに「図面連携用紙で追加する」が表示されます。

① Windows版とAndroid版は+ > [ファイルから読み込む]を選びます。

⑥ 「図面連携用紙」を選びます



⑦ 「縮尺」を選びます

⑧ 「完了」を押します

図面連携用紙の図面ユニットに図面ファイルが読み込まれたページが追加されます。

2-4 是正内容を確認

① 是正内容を確認するメンバーが、**「是正後の画像」**が追加された状態を確認できるページを開きます

② **「選ぶ」**で、ピンマーク▲を押します

③ **「指摘記録の詳細」**を押します



④ **「是正内容」**を確認します

是正内容 登録しました。>

是正後の画像 追加

是正者 目田文子 >

予定日 2025/09/25 >

確認日 (なし) >

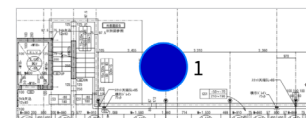
確認完了 ☒ **「確認完了」**

クリア

⑤ **「確認完了」**を押してオンにします

⑥ **「指摘記録（ピンマーク型）」**の**「完了」**を押します

「確認完了」が押された状態



ピンマークの表示

● **「確認完了」**がオンになった状態

2-5 指摘記録の一覧へ反映

① **「最新に更新」**を押します

指摘記録（ピンマーク型）に記録した内容が、指摘記録の一覧に反映されます。

指摘図面 沖浜地区 商業施設

作成日 2025/09/24 作成者 今村里美

図面 2階見上図

1 ページ目 **最新に更新**

番号	場所	分類	指摘	是正者	確認
1	沖浜地区	整備	三角コーン撤去依頼	目田文子	完了
2	沖浜地区南	撤去	機材の撤去をお願いします	今村里美	完了
3					未
4					未

2-6 指摘記録の一覧からページを追加

- ① [🔍 選ぶ] で図面ユニットを押します

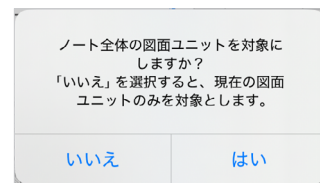
図面ユニットを押したときの編集メニューが表示されます。

- ① ピンマークを押した画面から [指摘記録の一覧からページを追加] を選ぶこともできます。

- ② [指摘記録の一覧からページを追加] を押します



- ③ メッセージが表示されるので選びます



- ④ [指摘記録の一覧からページを追加] 画面で選び、[完了] を押します

キャンセル 指摘記録の一覧からページを追加 完了

指摘記録 2 件

絞り込み

確認完了
すべて ▼

場所
すべて ▼

分類
すべて ▼

指摘
すべて ▼

是正者
すべて ▼

- ⑤ 用紙を選んで押します



[指摘記録] タブに関連付くプロパティ情報を集めた [指摘記録一覧] ページが追加されます。



▶ タブの検索・CSV出力 (P.24)

3. 指摘記録（フォーム型）

3-1 図面連携用紙を準備

3-1-1 図面ファイルを保存

図面ファイルを図面ファイルの保存場所に保存しておきます。

3-1-2 図面連携用紙に図面ファイルを読み込む

3-1-2 では、図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む方法を簡単に紹介しています。

次の操作でも図面連携用紙〔指摘記録との連携（フォーム型）〕を使って図面ファイルを読み込むことができます。

- 図面連携用紙に複数の図面ファイルを読み込む（P5）
- ほかのアプリからインポートして図面連携用紙に図面ファイルを読み込む（P6）
- インポート / ファイルから読み込む（P6）

方法 1 図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む

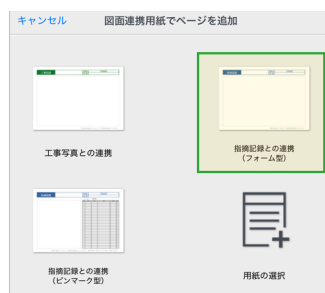
図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む（P4）では、より詳しい手順を説明しています。

方法 1-1 図面連携用紙でページを追加

- ① 十 > [図面を追加] > [図面連携用紙でページを追加] を押します

- ② [指摘記録との連携（フォーム型）] を押します

図面連携用紙〔指摘記録との連携（フォーム型）〕がページとして追加されます。



方法 1-2 図面連携用紙に図面ファイルを追加

- ① [選ぶ] になっていることを確認し、図面ユニットを押します

図面連携用紙〔指摘記録との連携（フォーム型）〕



▶ 図面ユニット（P15）

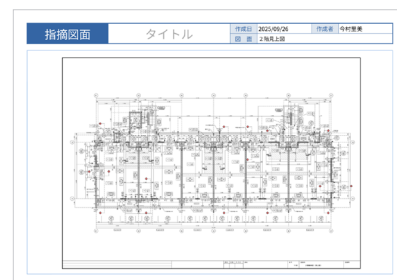
- ② [ファイルから選択] を押し、図面ファイルを選びます



▶ [〇〇から読み込む]（P5）

- ③ [ファイルから選択] で、[タイトル] [縮尺] を設定し、[完了] を押します

図面ユニットに図面ファイルが読み込まれます。

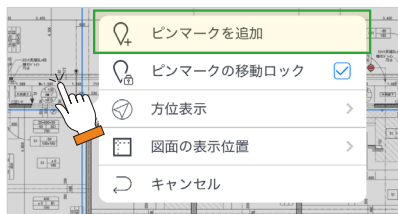


3-2 ピンマークを追加・指摘記録と関連付け

追加したピンマークと、**指摘記録票**の**【指摘記録】**タブとを関連付けることができます。

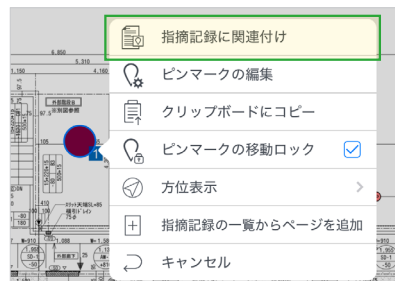
① **【選ぶ】** になっていることを確認します

② ピンマークを追加したいところを押し、**【ピンマークを追加】**を押します



ピンマークが追加されます。

③ 追加されたピンマーク ● を押し、**【指摘記録に関連付け】**を押します



ピンマークの表示

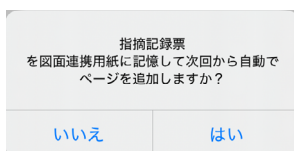
● 画像が追加されていない状態

④ 関連付ける**【指摘記録票】**を押します

指摘記録に関連付け



⑤ メッセージが表示されるので選びます



【はい】を選んだ場合

同じ**図面ユニット**で①②③の操作をすると、記憶された④の用紙が自動で追加され、⑥に進みます。

④ 記憶された④の用紙は、**関連情報の設定 (P18)** から変更できます。

【いいえ】を選んだ場合

同じ**図面ユニット**で①②③の操作をすると、④の画面が表示されます。

指摘記録票ページが追加され、関連付けられた**【指摘記録】**タブにジャンプします。

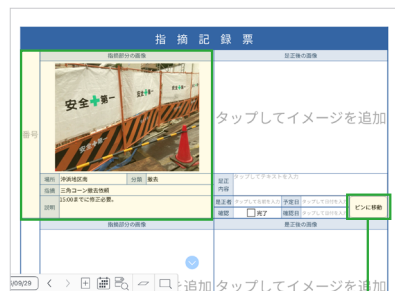
指摘記録票



【指摘記録】タブ

⑥ 指摘内容や写真を追加します

【指摘部分の画像】が追加された状態



【ピンに移動】

【ピンに移動】を押すと、**【指摘記録】**タブに関連付いたピンマークにジャンプします。

【指摘記録に移動】

ピンマーク ▲ を押して表示されたメニューから**【指摘記録に移動】**を選ぶと、**【指摘記録】**タブにジャンプします。



【指摘記録】タブに関連付いたピンマーク

ピンマークの表示

▲ **【指摘部分の画像】**が追加された状態

✗ 画像が追加されていない状態

3-3 是正内容を入力

① 是正するメンバーが、**〔指摘部分の画像〕**が追加された状態のページを開きます

② **〔選ぶ〕** で、ピンマーク ▲ を押し、**〔指摘記録に移動〕** を押します

ピンマークと関連付く **〔指摘記録〕** タグにジャンプします。

③ **是正後の内容**を追加します

是正後の内容



〔是正後の画像〕が追加された状態



ピンマークの表示

▲ **〔是正後の画像〕**が追加された状態

3-4 是正内容を確認

① 是正内容を確認するメンバーが、**〔是正後の画像〕**が追加された状態を確認できるページを開きます

② **〔選ぶ〕** で、ピンマーク ▲ を押し **〔指摘記録に移動〕** を押します

③ **是正内容**を確認します



〔確認〕の〔完了〕

④ **〔確認〕**の**〔完了〕**を押してオンにします

〔確認〕の〔完了〕がオンの状態



ピンマークの表示

● **〔確認〕**の**〔完了〕**がオンの状態

3-5 指摘記録の一覧からページを追加

① **〔選ぶ〕** で、**図面ユニット**を押します

図面ユニットを押したときの編集メニューが表示されます。

● **ピンマーク**を押した画面から **〔指摘記録の一覧からページを追加〕**を選ぶこともできます。

② **〔指摘記録の一覧からページを追加〕**を押します



つづきは、▶ **2-6 指摘記録の一覧からページを追加 (P.9)** ③以降の手順と同じです。

▶ **タグの検索・CSV出力 (P.24)**

4. 工事写真

▶ GEMBA Note for Business 7 をご利用の方へ (P1)

4-1 図面連携用紙を準備

4-1-1 図面ファイルを保存

図面ファイルを図面ファイルの保存場所に保存しておきます。

4-1-2 図面連携用紙に図面ファイルを読み込む

4-1-2 では、図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む方法を簡単に紹介しています。

次の操作でも図面連携用紙「工事写真との連携」を使って図面ファイルを読み込むことができます。

- 図面連携用紙に複数の図面ファイルを読み込む (P5)
- ほかのアプリからインポートして図面連携用紙に図面ファイルを読み込む (P6)
- インポート / ファイルから読み込む (P6)

方法 1 図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む

図面連携用紙にひとつの図面ファイルを読み込む (P4) では、より詳しい手順を説明しています。

方法 1-1 図面連携用紙でページを追加

① 十> [図面を追加] > [図面連携用紙でページを追加] を押します

② [工事写真との連携] を押します



図面連携用紙「工事写真との連携」がページとして追加されます。

方法 1-2 図面連携用紙に図面ファイルを追加

① [🔍 選ぶ] になっていることを確認し、図面ユニットを押します

図面連携用紙「工事写真との連携」



▶ 図面ユニット (P15)

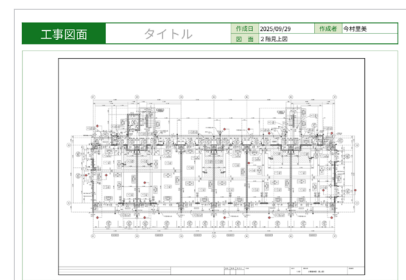
② [ファイルから選択] を押し、図面ファイルを選びます



▶ [〇〇から読み込む] (P5)

③ [ファイルから選択] で、[タイトル] [縮尺] を設定し、[完了] を押します

図面ユニットに図面ファイルが読み込まれます。

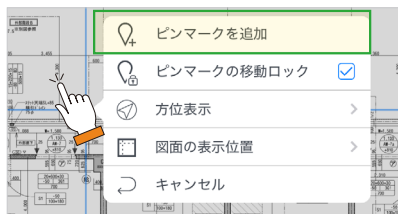


4-2 ピンマークを追加・工事写真と関連付け

追加したピンマークと、**工事写真票**の**【工事写真】タブ**とを関連付けることができます。

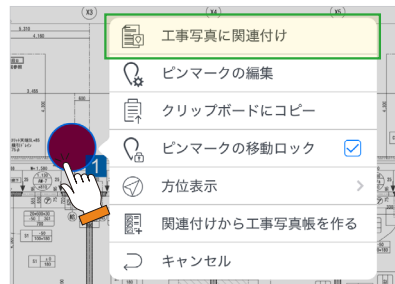
① **【ピンマークを追加】**になっていることを確認します

② ピンマークを追加したいところを押し、**【ピンマークを追加】**を押します



ピンマークが追加されます。

③ ピンマーク **●** を押し、**【工事写真に関連付け】**を押します

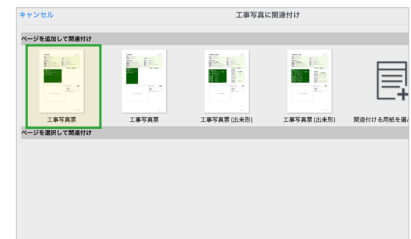


ピンマークの表示

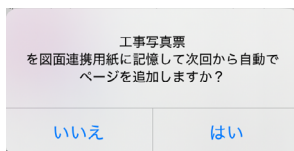
● 工事写真が追加されていない状態

④ 関連付ける**【工事写真票】**を押します

工事写真に関連付け



⑤ メッセージが表示されるので選びます



【はい】を選んだ場合

同じ**図面ユニット**で①②③の操作をすると、記憶された④の用紙が自動で追加され、⑥に進みます。

④記憶された④の用紙は、**関連情報の設定 (P18)**から変更できます。

【いいえ】を選んだ場合

同じ**図面ユニット**で①②③の操作をすると、④の画面が表示されます。

工事写真票のページが追加され、関連付けられた**【工事写真】タブ**にジャンプします。

工事写真票



【工事写真】タブ

⑥ **工事黒板の情報や工事写真を追加します**

【工事写真】が追加された状態



【ピンに移動】

【ピンに移動】を押すと、**【工事写真】タブに関連付いたピンマーク**にジャンプします。

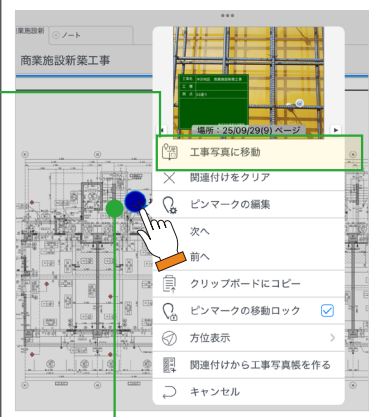
工事写真管理機能利用ガイド

工事黒板・工事写真票・工事写真帳については、**工事写真管理機能利用ガイド**でご確認ください。

▶**タグの検索・CSV出力 (P.24)**

【工事写真に移動】

ピンマーク **●** を押して表示されたメニューから**【工事写真に移動】**を選ぶと、**【工事写真】タブ**にジャンプします。



【工事写真】タブに関連付いたピンマーク

ピンマークの表示

● **【工事写真】**が追加された状態

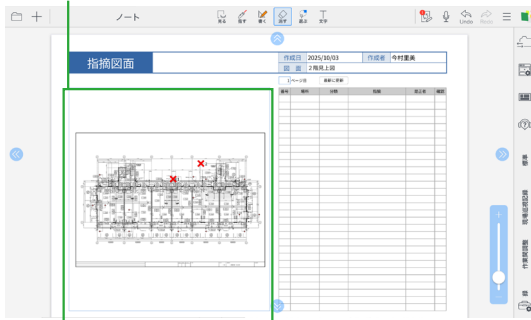
5. 図面ユニットの操作

5-1 図面ユニット

5-1-1 図面ユニットを選ぶ

■ 図面ユニットが選ばれていない状態

図面ユニット



図面ユニットが選ばれていない状態にする

図面ユニットが選ばれた状態から次の操作をすると、図面ユニットが選ばれていない状態になります。

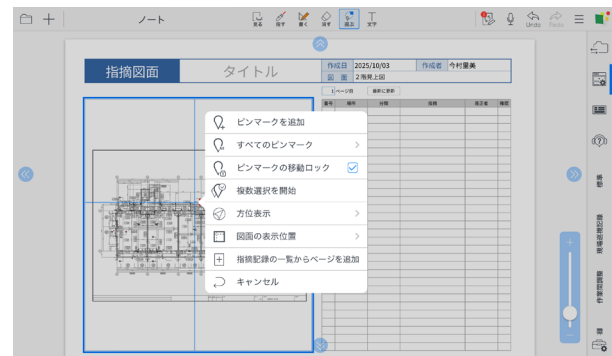
- [選ぶ] 以外のモードにしたとき
- ページを切り替えたとき
- 図面ユニット以外の場所を押したとき
- 図面ユニットを押したときの編集メニューや図面ユニットを長押ししたときの編集メニューで [キャンセル] を押したとき

■ 図面ユニットが選ばれた状態

① を押し、図面ユニットを押します

図面ユニット選ばれた状態になり、周囲が青くなります。

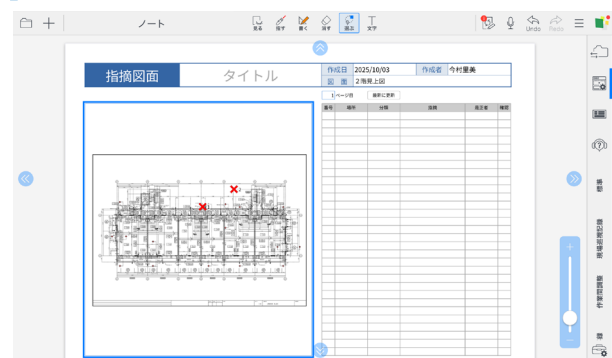
図面ユニットを押したときの編集メニュー



② メニュー以外の編集画面を押します

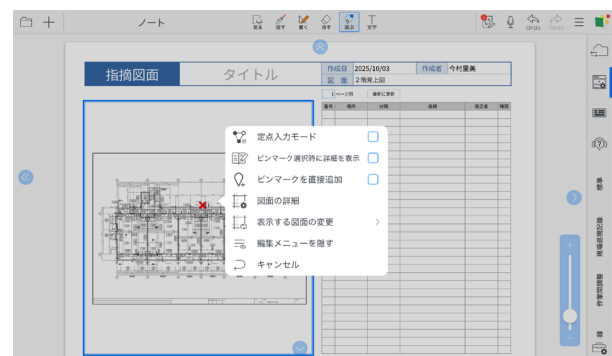
編集メニューが消えます。

図面ユニットが選ばれた状態



③ 図面ユニットを長押しします

図面ユニットを長押ししたときの編集メニュー



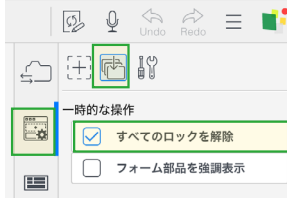
5-1-2 [図面ユニット] メニューを選ぶ

① 図面ユニットが選ばれていない状態にします

②  を押します

③ 画面右の  を押し、[すべてのロックを解除] をオンにします

④ 図面ユニットを長押しまたは右クリックし、表示されるメニューから [図面ユニット] を押します



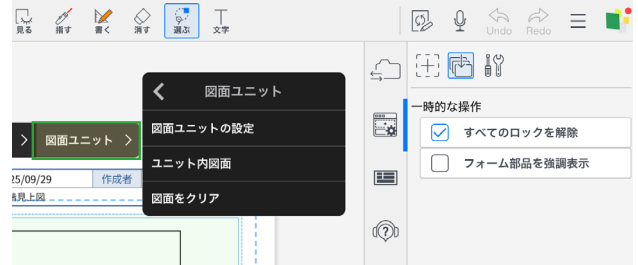
一時的にロックが解除され、図面ユニットを選択できます。

ロックする

③で [すべてのロックを解除] をオフにします。

 ページを切り替えると自動的にオフになり、ロックしている状態に戻ります。

 Android 版は、図面を長押しで表示されるメニューの [操作] > [すべてのロックを解除]・[ページ内のすべてのロックを解除] を選びます。



図面ユニットの設定・ユニット内図面・図面をクリアが表示されます。

5-1-2-1 ユニット内図面

ユニット内図面



5-1-2-2 図面をクリア

図面ファイルが読み込まれていない状態に戻ります。

ピンマークがある場合は、「ピンマークを残しますか?」と表示されます。[はい] を選んでピンマークを残すか、[いいえ] を選んでピンマークと関連情報も削除するかを選びます。

5-1-2-3 図面ユニットの設定

図面ユニットの設定でピンマークの関連付け情報などをカスタマイズできます。

 [指摘記録票] や [工事写真票] など詳細を記録する用紙をカスタマイズするには、開発ツールオプションが必要です。

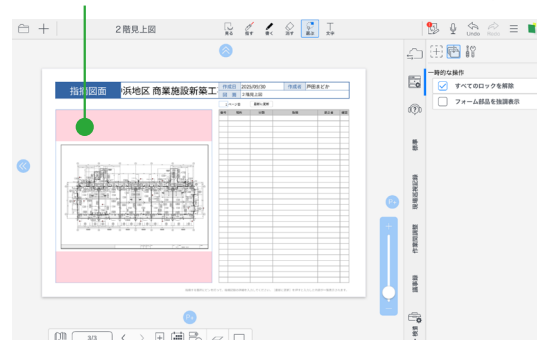
① 5-1-2 の④で [図面ユニットの設定] を押します

5-1-2-3-1 フィールド設定

図面ユニットの設定



図面ユニットを囲む [枠線] や [背景色] を変更します。



 [指摘記録との連携(ピンマーク型)]の[図面ユニットの設定]です。

5-1-2-3-2 表示設定

表示設定	
ピンマーク	>
図面	>

ピンマークの表示

キャンセル ピンマークの表示 完了

表示サイズを自動調整 ☐

順序を表示 ☐ 矢印でつなぐ ☐

ラベル

右に表示

文字スタイル >

方位表示

既定

不透明度 (%)

10 25 50 75 100

順序を表示

ピンマークを追加した順序を表示したり、[矢印でつなぐ] 場合はオンにします。

ラベル

ラベルの設定をします。



● 表示位置

[表示しない] [重ねて表示] [下に表示]
[右に表示] から選びます。

● 文字スタイル

ラベルの文字のスタイルや、背景色を選びます。

▶ 方位表示 (P23)

図面の表示

キャンセル 図面の表示 完了

図面の表示位置

全体を表示

不透明度 (%)

0 25 50 75 100

全体を表示
中央を表示
固定
自由

図面の表示位置

[全体を表示] [中央を表示] [固定] **[自由]**
から選びます。

● [自由]

[自由] を選ぶと、**図面ユニット**内の
図面ファイルを、自由に移動・拡大・
縮小できます。

5-1-2-3-3 編集設定

編集設定

プレースホルダ [タップして図面を設定 >](#)

ピンマークの初期値 [>](#)

ピンマークの移動ロック [>](#)

ピンマークを直接追加 ☐

ラベルの初期値 [なし](#) [番号](#)

関連情報の設定 [ピンマーク](#) [フォーム](#)

タグ

指摘記録 [▼](#)

入力項目の設定 [>](#)

ピンマークに表示する項目 (ラベル)

番号 [▼](#)

ピンマーク選択時に詳細を表示 ☐

条件付きスタイル [>](#)

■ プレースホルダ

指摘図面 タイトル 作成日 2024/04/10 作成者 今村 隆夫

図 表 図面に追加のファイルを読み込むことができます

タップして図面を設定

キャンセル プレースホルダ 完了

表示文字列

タップして図面を設定

フォント [源ノ角ゴシック >](#)

文字サイズ 24.0 pt

文字色 [>](#)

■ ピンマークの移動ロック

初期設定では、ピンマークの移動が[ロック]されています。

キャンセル ピンマークの移動ロック 完了

設定をユニットに記憶する ☐

現在の設定 [ロック](#) [解除](#)

ピンマークを移動できる図面ユニットにするためには、「設定をユニットに記憶する」をオンにして[解除]し、[完了]します。

■ ピンマークを直接追加

オンにすると、ピンマークを追加したいところを押したとき、**図面ユニットを押したときの編集メニュー**が非表示になり、メニューの「ピンマークを追加」を押さずにピンマークを直接追加できます。

① 関連情報の設定で、**ピンマーク選択時に詳細を表示**もオンのときは、ピンマークを追加したときに、関連付けられた**指摘記録 (ピンマーク型)**を開いたり、**[指摘記録] タグ・[工事写真] タグ**に直接ジャンプしたりします。

■ ラベルの初期値

[番号] が選ばれていると、ピンマークを新しく追加したときに 1 から始まる**ラベル**が設定されます。

■ ピンマークの初期値

キャンセル ピンマークの初期値 完了

形状 [●](#) [●](#) [×](#) [▲](#) [■](#) [★](#)

色 [●](#) [●](#) [●](#) [●](#) [●](#) [●](#)

大きさ 12 [<](#) [>](#)

方位 [●](#) (指定しない)

▶ 方位 (P23)

■ 関連情報の設定

● 指摘記録 (ピンマーク型) を選んでいる場合

[ピンマーク] が選ばれています。

関連情報の設定 [ピンマーク](#) [フォーム](#)

タグ

指摘記録 [▼](#)

入力項目の設定 [>](#)

ピンマークに表示する項目 (ラベル)

番号 [▼](#)

ピンマーク選択時に詳細を表示 ☐

タグ

[指摘記録] タグが選ばれています。

● 入力項目の設定

指摘記録 (ピンマーク型) 画面の入力項目が表示されます。

ピンマークに表示する項目 (ラベル)

ピンマークの横に表示する**ラベル**を、▼を押して選びます。

● ピンマーク選択時に詳細を表示

[ピンマーク選択時に詳細を表示] をオンにすると、ピンマークを押したときに表示されるメニューから [指摘記録の詳細] ([**指摘記録に移動**] / [**工事写真に移動**]) を押す操作を省き、



直接関連付けられた**指摘記録 (ピンマーク型)**の詳細画面が表示されたり、**[指摘記録] タグ / [工事写真] タグ**にジャンプしたりします。

●指摘記録（フォーム型）を選んでいる場合

「フォーム」が選ばれています。

タグ

「指摘記録」タグが選ばれています。

●ピンマークの関連付け設定

オンのときは、ピンマークと、選んだ指摘記録票の「指摘記録」タグを自動で関連付けます。

「図面連携用紙」を押すと、指摘記録に関連付けが表示され、ピンマークに関連付ける用紙を変更できます。

▶ピンマークに表示する項目（ラベル）（P18）

●工事写真を選んでいる場合

「フォーム」が選ばれています。

タグ

「工事写真」タグが選ばれています。

●ピンマークの関連付け設定

オンのときは、ピンマークと、選んだ工事写真票の「工事写真」タグを自動で関連付けます。

「図面連携用紙」を押すと、工事写真に関連付けが表示され、ピンマークに関連付ける用紙を変更できます。

▶ピンマークに表示する項目（ラベル）（P18）

■条件付きスタイル

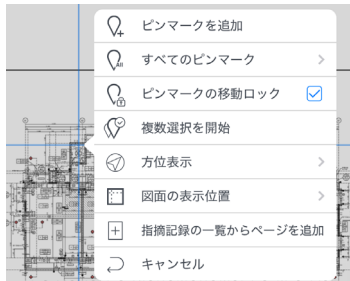
条件付きスタイルでは、タグのプロパティ情報に応じたピンマークの形状・色・サイズを設定できます。

5-2 図面ユニットを押した画面の操作

一時的に図面ユニットの設定を変更するときは、画面を押して表示されるメニューから操作できます。

5-2-1 図面ユニットを押した画面

図面ユニットを押したときの編集メニューを表示します。



① 複数のピンマークがあるときは、**すべてのピンマーク**、**複数選択を開始**が表示されます。

▶方位表示 (P23)

▶図面の表示位置 (P17)

■ ピンマークの移動ロック

「ピンマークの移動ロック」をオフにすると、ピンマークを押して選べるようになります。



「ピンマークの移動ロック」をオン

図面ユニットが選ばれていない状態になると、「ピンマークの移動ロック」が自動でオンに戻ります。

① 図面ユニットの設定で、**ピンマークの移動ロック**の初期値を変更できます。

5-2-2 図面ユニットを長押しした画面

図面ユニットを長押ししたときの編集メニューを表示します。



■ 定点入力モード

「定点入力モード」は、ピンマークの位置を固定しておき、ピンマークの詳細のみを編集したいときに使うと便利です。

①「定点入力モード」をオンにします

②ピンマークを押します

ピンマークの詳細を編集するメニューのみ表示されます。



①「定点入力モード」をオフにして終わります。

▶ピンマーク選択時に詳細を表示 (P18)

▶ピンマークを直接追加 (P18)

■ 図面の詳細

ユニット内図面が表示されます。

■ 表示する図面の変更

追加した**図面ファイル**を選び直したり、クリアしたりします。

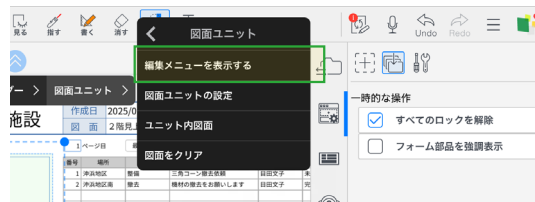


▶図面をクリア (P16)

■ 編集メニューを隠す

「編集メニューを隠す」を押すと、**図面ユニットを押したときの編集メニュー**を隠します。

① 戻すときは、5-1-2 の操作で、「編集メニューを表示する」を選びます。



5-2-3 ピンマークを押した画面

① を押し、ピンマークを押します



▶ピンマークの移動ロック (P18)

▶方位表示 (P23)

■ ピンマークの編集

ピンマークの形状・色・大きさなどを変更できます。



▶方位 (P23)

■ ピンマークの削除

追加したピンマークを削除します。

① 5-3-1-2 の操作をして、複数のピンマークを削除することもできます。

■ >次へ・<前へ

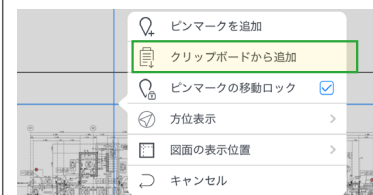
次に(前に)追加されたピンマークにジャンプします。

■ クリップボードにコピー

ピンマークの「ピンの位置」「ピンの形状」「ピンマーク型に関連づいたタグ・帳票の入力内容」をコピーします。
[クリップボードにコピー] を押したあとで、**クリップボードから追加**します。

クリップボードから追加

貼り付けたい図面ユニットを押し、表示されるメニューから「クリップボードから追加」を選びます。



[クリップボードから追加] で、「追加位置」を選び「完了」を押します。



5-3 ピンマーク

5-3-1 ピンマークを選ぶ

ピンマークは、うっかり移動されないように、初期値ではピンマークの移動をロックする設定になっています。
次の方法でピンマークを選ぶことができます。

5-3-1-1 ピンマークを長押しして選ぶ

① を押し、ピンマークのひとつを押します

② ピンマークを押した画面が表示されたら、メニュー以外の編集画面を押してメニューを消します

ピンマークが青く囲われます。



③ ピンマークを長押しします

ピンマークが選ばれ、ドラッグで移動したり、回転したりできます。



▶ピンマークを回転・方位を表示 (P23)

① ピンマークを押した画面で、**ピンマークの移動ロック**をオフにし、ピンマークを移動したり、回転したりすることもできます。

■ [ピンマークの移動ロック] をオン

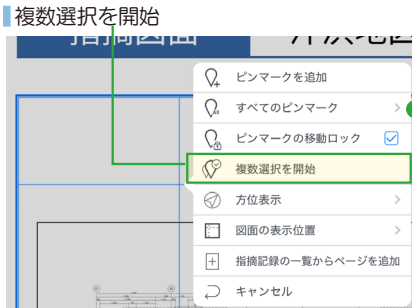
図面ユニットが選ばれていない状態になると、[ピンマークの移動ロック] が自動でオンに戻ります。

① 図面ユニットの設定で、**ピンマークの移動ロック**の初期値を変更できます。

5-3-1-2 複数のピンマークを選ぶ

〔複数選択を開始〕を押すと、ピンマークを押すだけで複数のピンマークが選べます。複数のピンマークを選んだら、そのうちのひとつを選ぶと、操作できます。

① 図面ユニットを押したときの編集メニューを表示します



② 〔複数選択を開始〕を押します

すべてのピンマーク

すべてのピンマークが選ばれた状態で、操作できます。



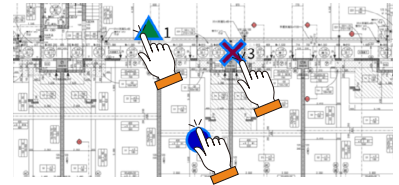
▶クリップボードにコピー (P21)

▶スタイルを変更 (P22)

● 削除

選んだ複数のピンマークを「削除」します。

③ 操作したい複数のピンマークを押します



複数のピンマークが選ばれます。ドラッグで移動できます。

④ ピンマークのひとつを押し、メニューを表示して選びます



⑤ 〔複数選択を完了〕を押し、複数選択モードを終わります

5-3-1-2-1 スタイルを変更

① 5-3-1-2 で複数のピンマークを選び、〔スタイルを変更〕を押します

② 設定を変更します



③ 〔完了〕を押します

① すべてのピンマークを選んだときは、〔ピンマークの初期値にも反映しますか？〕と表示されます。〔はい〕を選ぶと、次にピンマークを追加するときに、スタイルが反映されます。

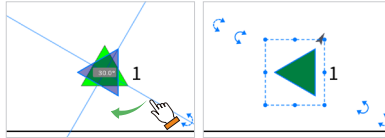
① 図面ユニットの条件付きスタイルが優先されます。

5-3-2 ピンマークを回転・方位を表示

①5-3-1-1の方法で、ピンマークを選びます

②🔄（自由な角度）または🔄（15°刻み）をドラッグし、回転します

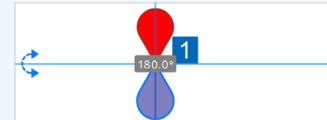
常に図面データの北を0°とし、時計回りに回転します。ここでは30°回転しています。



③用紙を押して選択を解除します



④ティアドロップ型は、尖った先を中心として回転します。



方位

方位を数値で入力できます。

▶ピンマークの編集 (P21)

▶ピンマークの初期値 (P18)

方位表示

ピンマークの編集、ピンマークの表示の「方位表示」から、用途に合うマークへ変更できます。

■既定：写真を撮影した方向などを表示



■矢じり：照度調査の方向などを表示



■矢印（中心から外）：広角写真の撮影点と撮影方向などを表示



■矢印（外から中心）：ピンポイント写真の対象と撮影方向、風向きなどを表示



方位が空白の場合

既定 マークが表示されません。
矢じり・矢印 白い○になります。

⑤ピンマークの編集の「方位」で✕を押して空白にして「完了」を押すと、方位が空白になります。

6. タグの検索・CSV 出力

ピンマークに関連付くタグ・プロパティを検索したり、CSV 出力したりできます。

■ピンマーク型：[指摘記録] タグに含まれるプロパティ

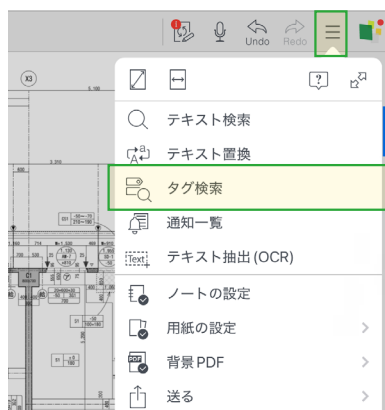
■フォーム型：[指摘記録] タグに含まれる[プロパティ]

■[工事写真] タグに含まれる[プロパティ]

ここでは、フォーム型の[指摘記録]タグを検索し、CSV 出力する流れを説明しています。

6-1 タグ検索

① ≡ > [タグ検索] を選びます



② [タグ検索] 画面で、[検索条件] の [>] を押します

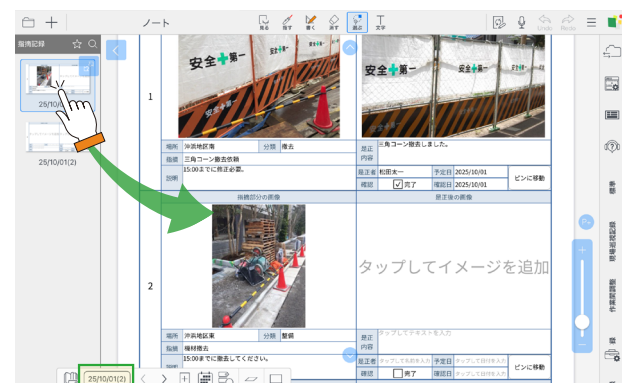
③ [タグスキーマ一覧] から [指摘記録] を選んでオンにし、[完了] を押します

④ [工事写真] を選ぶこともできます。

検索するプロパティや、検索結果のスタイルを変更できます。

④②の [タグ検索] 画面で [検索] を押します

タグが検索されます。押すとタグにジャンプします。



押して「すべて」を選ぶと、ノート一覧に戻ります。

6-2 タグの検索条件を登録・CSV 出力

6-2-1 検索条件を登録

① 6-1 で「検索条件」の「登録」を押します



② 「検索条件の登録」画面で設定します



③ 「完了」を押して登録します

④ 「登録済み検索条件一覧」の「アプリ」に、登録した「検索条件名」が表示されたことを確認します



⑤ 「[アプリ] 以外に登録された場合は、[検索条件名] を長押しで表示されるメニューから「アプリにコピー」を選びます。

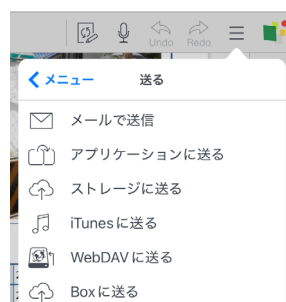
⑤ 「閉じる」を押します

6-2-2 CSV 出力

① ≡ > 「送る」を選びます



② CSV ファイルを送る場所を選びます



③ 「形式」の「CSV」の「>」を押します



④ 「出力対象」の「タグ」を押します



⑤ 「フォーム部品・表」を選ぶとページに含まれるフォーム部品と表の情報すべてを 1 行として CSV に出力します。

⑤ 6-2-1 で、登録した検索条件をオンにします



⑥ 「完了」を押して③まで戻り、「送信」を押します

CSV ファイルが送信されます。
送信された CSV ファイルを確認します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	number	place	title	category	point	rank	description	image	corrections	imageAfterCt	correctedBy	scheduledDa
2		2 沖浜地区東		整備	機材撤去		15:00 までに	ticket//	92943d86a1991f496e32522ba03667d3+c870db56289b2b			
3		3										